水稲ドローン直播実証試験の現地検討会を開催しました

8/26(水)に坂東市神田山の現地ほ場において、省力化技術として注目される種子処理技術(リゾケア XL 処理種子)を活用した水稲ドローン直播の実証試験現地検討会を開催し、生産者および関係機関を含め約３０名が出席しました。

当日は、普及センターより本実証ほの栽培経過、苗立ち率や初期生育調査の結果を報告したほか、メーカー担当者から処理種子の特性や県内外での取組事例、栽培管理のポイントについて説明が行われました。

その後のほ場見学では、実際の生育状況を確認しながら、導入費用や管理上の注意点などについて活発な質疑応答が行われました。参加者からは次年度の作付けに向けた前向きな意向も示されるなど、技術導入に向けた有意義な意見交換の場となりました。

水稲直播栽培の定着に向けては、ほ場の均平確保や水管理、鳥害への対応をはじめ、作付規模や経営条件に応じた見極めが不可欠になります。普及センターでは、今後も新技術のメリットと課題の双方を多角的に検証しながら、スマート農機等を活用した効率的な営農体系の確立に向けて支援を行っていきます。





8/26(水)　坂東地域農業改良普及センター　稲毛田(成長産業)